



## 珈琲

市場沈滯の原因は  
課稅徵收法にある利害調和の新法はある  
目下考究中この事

此歲數日來、輸出向珈琲リオ市場は頗る活氣がない爲、一般に危虞されである。或る觀察者の言に從へば、此の不活潑は珈琲調節局が十五志の課稅徵收法に對し、爲替相場が高くなつて居るのに起因して居ると云ふ、それと云ふのが此の税金は其の當日の相場で換算するといふ條件の下に輸出業者が創設し賛同したものであつて、其の後の決議により十五志十五鉢換へに定めたものである去五日の輸出市場は不定、弱氣を示し、少しあ景氣が出なかつた、珈琲輸出業組合では六、七八袋貰れたが價格維持の爲め調節局が買つて了つた。

市場に於ける輸出業者間の意見は、爲替相場が高い間は外國市場とは取引不可能であると云ふに一致して居り、中には既に取引済で最近の汽船に積込交渉をするが、船積をせぬと云ふ意図を洩してゐる者もある。

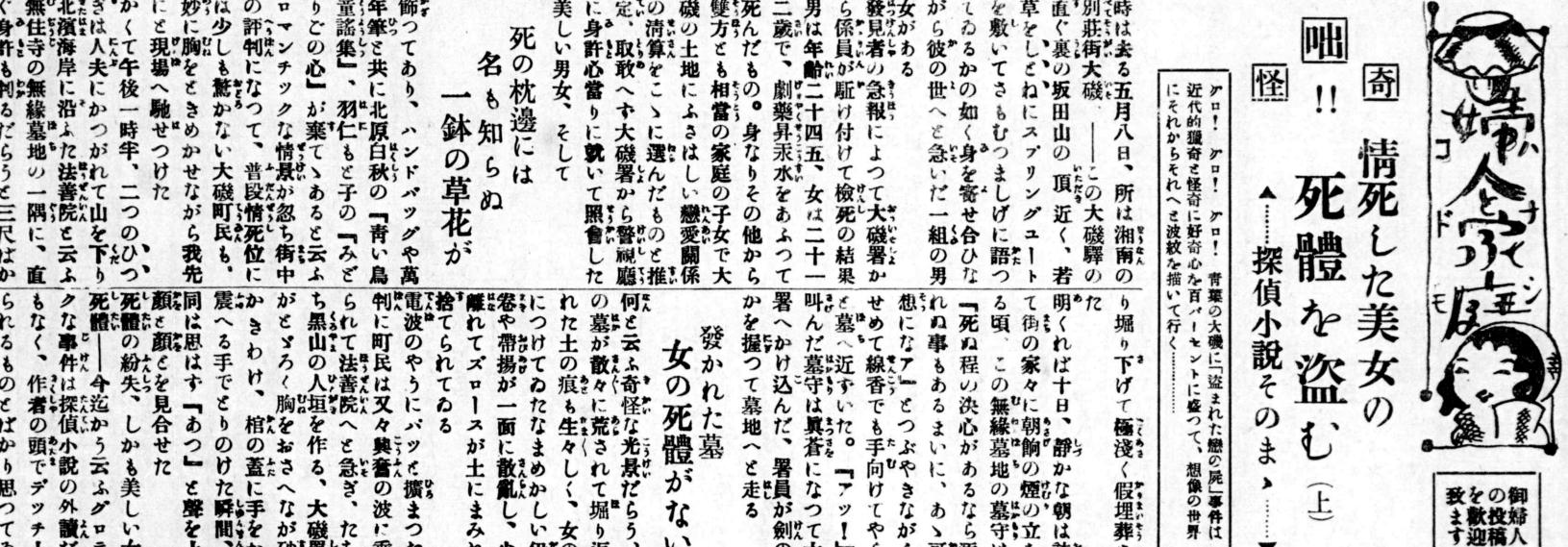
藏相の言明によれば、政府は輸出珈琲に課する十五志税は五十鉢換へとして、當分變更はせぬとのことである、然しながら一方「デイアリオ・ダ・ノイテ」は商人間に於て珈琲調節局の賛同の下に、諸方面の利害を調和すべき新方法が考究されつゝあると報じてゐる。

一疋の女王蜂は調子が良ければ一日に千八百乃至二千四百個の卵を産み二十日乃至三十日引締き休まない、そして二十四時間

蜜蜂の産卵

卵のおもさは體重以上だ。





咄!! 情死した美女の  
死體を盜も (上)

御婦人の投稿者  
致を歓迎

彼等の身許は  
ボツケツトに残る  
かきおさ

群衆は現實にこの奇怪な事件を見つけて好奇の目はいつしか不安の重壓となり、腰をつぶして我家へと逃げ歸った

死んだ學生のボケットから遺書が一通發見された、それは

私が明九日になつても歸らなかつたらこの世のものはないと思つたからそれからそれへと波紋を描いて行く……

八重子の死體はどうなつたのでせう、誰が奪つたのでせう、何のために! どうか皆さんは可哀そうな八重子さんのために祈りながら次號をお待ち下さい

談相生衛 岡博士

單行又は葉書大紙

書面に記用のこ

質問は成可く簡

便の用紙

宛名は伯刺西南

時報社衛生相談

時報社衛生相談

取扱説明書

付属資料

三十日かの長い航海も無事に済まし、波に揉まれ、風雨と闘ひ疲れ切った船員のやうな巨體のO S K 南米航路のT丸は、検疫も終り静かにサンクトペテルブルクの港に入つて来ました。

久方ぶりに土の香りを嗅げる喜びに相好くして働いてゐる船員。船橋から頃で部下を手足の甲板船員の笑聲。忙しさうに何にくれどなく指揮してゐる高級船員。船橋から頃で部下を手足の甲板は、急に活氣に満ち溢れました。

「さあアラジルに着きましたよ」

船尾の日章旗が、吹いてくる異國の潮風にハタ／＼と靡いてゐました。

「ボーリの聲に、玄洋の大暴風、雨以來、船酔に散々悩まされ、

かつた船員は、救はれたやうな氣になり、衰弱しきつた身體を食物らしいもの一つも口にしな

いります。

餘りの差明さに、クラ／＼と目がくらみさうになつたのを、やつと手摺に、身籠を支へて、横に、

「アラ！ びっくりしたワ邦雄さん……」

（二）

幾十日かの長い航海も無事に済まし、波に揉まれ、風雨と闘ひ疲れ切った船員のやうな巨體のO S K 南米航路のT丸は、検疫も終り静かにサンクトペテルブルクの港に入つて来ました。

久方ぶりに土の香りを嗅げる喜びに相好くして働いてゐる船員。船橋から頃で部下を手足の甲板は、急に活氣に満ち溢れました。

「さあアラジルに着きましたよ」

船尾の日章旗が、吹いてくる異國の潮風にハタ／＼と靡いてゐました。

「ボーリの聲に、玄洋の大暴風、

雨以来、船酔に散々悩まされ、

かつた船員は、救はれたやうな氣になり、衰弱しきつた身體を

食物らしいもの一つも口にしな

いります。

餘りの差明さに、クラ／＼と目がくらみさうになつたのを、やつと手摺に、身籠を支へて、横に、

「アラ！ びっくりしたワ邦雄さん……」

## 説小賞懸

### 夢ぬて果見

助之哲見淺



各種投稿  
稿歓迎

るやうな濃い緑に包まれた様じ  
いブラジルの山河に目を雪ざま  
した。  
玩具のやうな船、電車、汽車、  
自動車が全く自分とは無関係に  
活動してゐるのを熟視してゐ  
ると、お伽噺の小人國へでも誘  
ひ込まれたやうな、心持ちにな

作者のことば

氣まぐれな風の裏戯に吹き散らされ  
た一粒の種は、沙漠の機に乾き切つ  
た病地にまづり出されましたが、來  
る日も（約きつゝやうな）寒い天氣  
に、喜ねな種は咲へぎながらもやつ  
き貧弱な生命を維持しました。自分  
は、ふさごの機會に「或る大きな力」  
の存在を識りました。

それ以後人生を宿命的に解説す  
る事が覺へました。

病地に落ちた種にも十年と云ふ歳月  
が流れ去りました。がまおき云ふ

見芽らしい生育で、いくつも然目  
に見えて、自分ながら愛情のつきるや  
うな貴重な姿に、彼はよ／＼自分  
を云ふものに自信が保てなくなりま  
した。

東海の史に継をたてゝ  
龍兒、努爾、哈、彼奇傑、  
蓋世の勇、雷霆の威、  
四藝族旗を望んでは  
壯圖は遂げて國破成り  
陣頭敵の影もなし

元、天命と名づけつゝ  
國、滿洲と號しけり  
昇る旭の國の武威、  
不朽と見しは將た夢か

其の直隸の別天地、  
今太平の夢破れ  
鳴呼中原に鹿を追ふ

時今來ぬと聲すなり  
鳴呼四百餘州人なきか

四億の蒼生を奈何せん

燕雀の群跳梁す  
一度南風吹きあれて  
堯禹の風雨今思ふ  
渤海の波立ちさわぐ

今や外勢日に迫り  
内治舉らず民は皆  
轍鉢の態やあはれる  
尾大愾はの老國の

獅子の眠や永くして  
意氣今消えて跡淋し

祖先の靈に耻もなく

獅子の眠や永くして  
意氣今消えて跡淋し</



## 衛生映画

トランホーム講習會の  
トランホーム映畫

齊藤ドクトルの指導で  
觀る者聽く者一同満足

トランホームは、在伯同胞「殊に光」が映寫された、初め講師齋  
第二世一に取つての大問題で藤ドクトルの挨拶で幕が明き、  
ある事は今更めて喋々するまで活辯として講習生の一員たるブ  
もないが、之を豫防し又は治療するに全力を傾注しつゝあるト  
クトル齊藤等氏は、去月廿七日からソロカバナ線ブ・ブルデン

テの第一小學校に於てトランホー  
ム講習會を開き十六名の講習生に午前は學科、午後は治療實習を毎日熱心に教授されたのであるが、講習生及び聽講生六名の氏名は

△講習生 照井次郎ア・マツシヤド郡  
アレンヨン第一小學校 松本清三  
片山慶夫 同第三小學校 松本清三  
藤澤保徳ヨセカドロ郡  
黒川裕夫 同第三小學校 松本清三  
高橋太郎ア・ブルデンテ郡  
渡部重バグレス郡  
文化植民地協會会員  
每船アマエニセスフロ郡  
三共小學校 フゴアセックカ小學校  
清水喜那ントアナスマシナ郡  
中島重雄オーニニヨス郡  
カロント小學校 カロントナスラシナ郡  
丹後男サントアナスマシナ郡  
正和植民地 プレジョン第四小學校  
生駒四丁目マッショード郡  
であつて僅か四日間に其の學理と方法などを呑込んだのである、尙ほ最後の三十日午後八時からはトランホーム

撲滅宣傳映画「開よりの」

は知らず／＼の中に引付けられ  
トランホームは恐ろしい病ひだが  
目に見た上に耳で説明を聽くの  
あるから小供にまでも判り、始めて衛生映画の有益なるに心  
眼を開いて各自歸宅せるは大な  
る收穫であつたと

トランホームは恐ろしい病ひだが  
治療さへ怠らねば癒る事が請合  
ひたることが理解され、それが  
月の收入が著しく減少し、價  
金の支拂額は一二九三五、〇〇  
兩即ち一、〇七八、〇〇〇磅に  
始しても拘らず、收入は一、  
〇六九、〇〇〇磅に過ぎなかつ  
て六日東京電報に依れば、滿鐵總

裁にして大の支那通であり、滿  
洲獨立に與つて力あつたと云  
ふる内田康哉氏は、遂に齊  
藤首相の懇請を容れ外相に  
就任と同時に帝國在外公館に向  
つて左の希望電報

内田康哉氏は、遂に齊  
藤首相の懇請を容れ外相に  
就任と同時に帝國在外公館に向  
つて左の希望電報

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

忽ち數棟に延焼し大火災となつ  
たので、急報に接した消防隊、  
大部分の器具は焼失を免れた、  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

内田伯愈々  
外相に就任

## 北米の干渉非難

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、參謀

次長眞崎中將滿洲觀察の途中、  
匪徒の一團に襲はれた、匪徒は  
各員一致共力帝國の公正なる態度を顯  
揚して滿洲の打開運の進展に最善

出張し總て應急の處置を執つた  
が、前四時鎮火したので一同  
引揚げた、原因は電氣装置の故  
間もなく校長イザイアス、ノロ

ニヤ氏、海軍大臣プロトヂエ  
子ス・ギマランエス氏等現場に  
付けて防火の榜書類、器具類並に  
陸戰隊及び水上警察の諸隊が駐

日本支那事變に日本が執れる行動に  
對し北米の干渉は不當なりとし  
て五日諸新聞が一齊に攻撃を開  
始した、又別報に依れば、

